

地域おこし協力隊



山本 千聖 さん

2017年の1月から広川町の地域おこし協力隊に着任しました山本千聖です。神奈川県川崎市出身で、服飾専門学校を卒業しました。卒業後は、ファッションデザインを勉強しながらファッションデザイナーアシスタントなどを経験しました。広川町に来たきっかけは、自身の生活環境への疑問から始まりました。東京では洋服の生地は小売店で購入するのが当たり前で、自分が選んだ生地がどこでどうやって作られているのか何もわかりませんでした。それは生地に限ったことではなく、野

菜や果物などの食材についても同様でした。それに対して疑問を感じていたところ、この広川町のものづくりをテーマとした地域おこし協力隊の仕事を知りました。素材や生地についてもっと知りたいという思いと、これからの自分の仕事をつくる基盤を作っていけたらという思いから現在に至ります。今は久泉のものづくりスペースKirubiruの運営スタッフとして活動しています。Kirubiruでは仕立部と題した、洋裁教室を開催しています。また過去にはTシャツやもんぺを縫い上げるワークショップを開催しました。少しずつですが、こういった活動から広川町に訪れてくれる人たちが増え始めたのを実感しています。これからさらに、広川町が魅力的な町として知ってもらえるような活動を進めていきたいと思っています。

今後の予定(主なもの)

- 11月1日 広川町功労者表彰式(いこっと)
- 11月4日 10時 第18回広川町消防団ポンプ操法大会(広川中学校)
- 11月7日 県南3町議会議員研修会(大刀洗町役場)
- 11月9日 10時 広川町金婚式(扇屋)
- 11月11日 ひろかわ古墳まつり(古墳公園)
- 11月14日 福岡県町村議会広報研修会(福岡県自治会館)(広川町担当)
- 11月16日 福岡県町村議会議長会理事会
- 11月21日 第62回町村議会議長全国大会(東京NHKホール)

お知らせ

傍聴席は、あなたをお待ちしています。

次の定例会は12月6日開会の予定です。

日程については、HPをご覧ください。議会事務局にお尋ねください。

議会事務局直通 0943-32-0109

編集後記

今年の夏は暑かった。連日の35度超えと少雨。広川ダム・溜池を放流し、水不足をカバー。唯一恵まれたのは日照時間です。

が、実りの秋を迎え、農作物の出来栄が気になります。

避難指示が出た7月の北部九州豪雨、大きな災害がなかったのは幸いです。だが、被災地では想定外が続出し、異常気象の常態化が心配です。9月定例会でも、防災対策に関し、多くの質問や提言がありました。でも、とっさの時に頼りになるのは家族・隣人・地域です。先ず、立ち上げた地域防災組織の自立を急ぐべきではないでしょうか。

(梅本 記)

議会広報調査特別委員会

- 委員長 池尻 浩一
- 副委員長 中尾 千枝
- 委員 佐々木四十臣
- 委員 梅本 哲
- 委員 川島 忠孝
- 委員 丸山 修二